



# 2021年度第3四半期 決算概況

## ブロードメディア株式会社

### 2022年1月28日

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみ全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# ◆2021年度第3四半期決算概要

◆業績予想の修正

◆自己株式の取得結果

◆トピックス

## 【参考】

事業セグメントの内容・トピックス

株式併合

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 第3四半期累計期間(4月～12月)の連結経営成績



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額	増減率	通期 業績予想 (10月27日発表)	進捗率
売上高	8,058	9,170	1,112	14%	12,000	76%
営業利益	284	637	352	124%	720	89%
経常利益	278	686	407	146%	750	91%
純利益	14	721	707	4917%	750	96%

- ✓ 前年同期に比べて増収増益、順調に推移
- ✓ 第2四半期までの好調な業績に加え、第3四半期には持分法適用関連会社の譲渡による売却益を特別利益に計上
- ✓ 純利益は、上記特別利益の影響等により、大幅な増益

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額
教 育	1,647	2,001	↑ 353	380	525	↑ 144
スタジオ・コンテンツ	2,050	2,304	↑ 254	△ 128	47	↑ 176
放 送	1,990	1,978	↓ △ 12	238	225	↓ △ 12
技 術	2,369	2,886	↑ 517	203	311	↑ 108
全 社 費 用				△ 409	△ 472	↓ △ 63
合 計	8,058	9,170	↑ 1,112	284	637	↑ 352

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額
教 育	1,647	2,001	↑ 353	380	525	↑ 144
			+21%			+38%

- ✓ 6期連続で入学生徒数が過去最高を更新中
- ✓ 横浜キャンパス開校や大阪校の通学キャンパス拡張により業容拡大を継続、2022年4月には博多キャンパス開校予定
- ✓ 上期に続き増収増益で連結業績を牽引

◆通信制高校  
ルネサンス高校グループ

◆日本語教育

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額
スタジオ・コンテンツ	2,050	2,304	↑ 254	△ 128	47	↑ 176
			+12%			黒字転換

- ✓ 制作事業は、日本語吹替制作が大幅な増収増益となり、セグメント全体の増収と黒字転換を牽引
- ✓ コンテンツ販売事業は、テレビ局向け番組販売が減少
- ✓ デジタルメディアサービスは、広告収入の不調が続く

◆デジタルメディアサービス

◆コンテンツ販売事業

◆制作事業

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額
放送	1,990	1,978	→ Δ 12	238	225	→ Δ 12
			Δ1%			Δ5%

- ✓ 視聴料収入は減少傾向が続く
- ✓ 前期に大きく落ち込んだスポンサー収入は、コロナ禍の影響でストップしていた新番組の制作が再開したことで回復
- ✓ 前期に開始した「釣りビジョンVOD」は売上を伸ばす

◆釣り専門チャンネル  
「釣りビジョン」

◆釣りビジョンVOD

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

		売上高			営業利益		
		2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額
技	術	2,369	2,886	↑ 517	203	311	↑ 108
		+22%			+53%		

- ✓ 主力のCDN(アカマイ)サービスは、引き続き好調
- ✓ クラウドソリューションは赤字幅が縮小
- ✓ デジタルシネマは低調に推移
- ✓ 第2四半期よりシステムデザイン開発(株)が連結グループに加入

◆CDN(アカマイ)サービス ◆クラウドソリューション ◆デジタルシネマサービス  
 ◆ホスピタリティ・ネットワーク ◆ネットワーク営業 ◆システム開発 ◆その他

# 事業セグメント別の連結経営成績～対前年同期～



(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	営 業 利 益		
	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期	増減額
全 社 費 用	△ 409	△ 472	↓ △ 63

16%費用増

- ✓ セキュリティ対策や企業買収に係る一時的な費用が発生
- ✓ 前期の子会社吸収合併に伴う一時的な税金費用の調整などが発生

- ◆グループ本社(ブロードメディア)管理部門の運営
- ◆グループ全体の支援(生産性向上・効率化・ガバナンス強化等)

# 連結財政状態



## 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	2020年度	2021年度 第3四半期	増減額	増減率
総資産	6,994	8,370	1,375	20%
負債	3,287	3,971	683	21%
純資産	3,706	4,398	692	19%
自己資本	2,748	3,272	523	19%
非支配株主持分	957	1,126	168	18%
自己資本比率	39%	39%	—	—

総資産

番組勘定が減少した一方で、現預金や売掛金が増加

負債

前受金が減少した一方で、借入金や預り金が増加

純資産

自己株式を取得した一方で、純利益の計上により純資産は増加

# 連結財政状態



## キャッシュフローの状況

	2020年度 第3四半期	2021年度 第3四半期
営業キャッシュフロー	△ 456	675
投資キャッシュフロー	△ 140	48
財務キャッシュフロー	△ 357	48
現金及び現金同等物の増減	△ 961	777
現金及び現金同等物の期末残高	2,413	4,202

(単位:百万円)(百万円未満切捨て) ※上記表中には「現金及び現金同等物に係る換算差額」は記載していません

### 営業キャッシュフロー

売掛金が増加した一方、税引前利益1,103百万円の計上や預り金の増加等により、プラス675百万円

### 投資キャッシュフロー

教育事業の拠点拡大に伴う資産や子会社株式を取得した一方、持分法適用関連会社の譲渡による収入等により、プラス48百万円

### 財務キャッシュフロー

リース債務や借入金の返済、自己株式の取得があった一方、社債の発行や新たな短期借入により、プラス48百万円

# ◆2021年度第3四半期決算概要

## ◆業績予想の修正

## ◆自己株式の取得結果

## ◆トピックス

### 【参考】

事業セグメントの内容・トピックス

株式併合

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 業績予想の修正



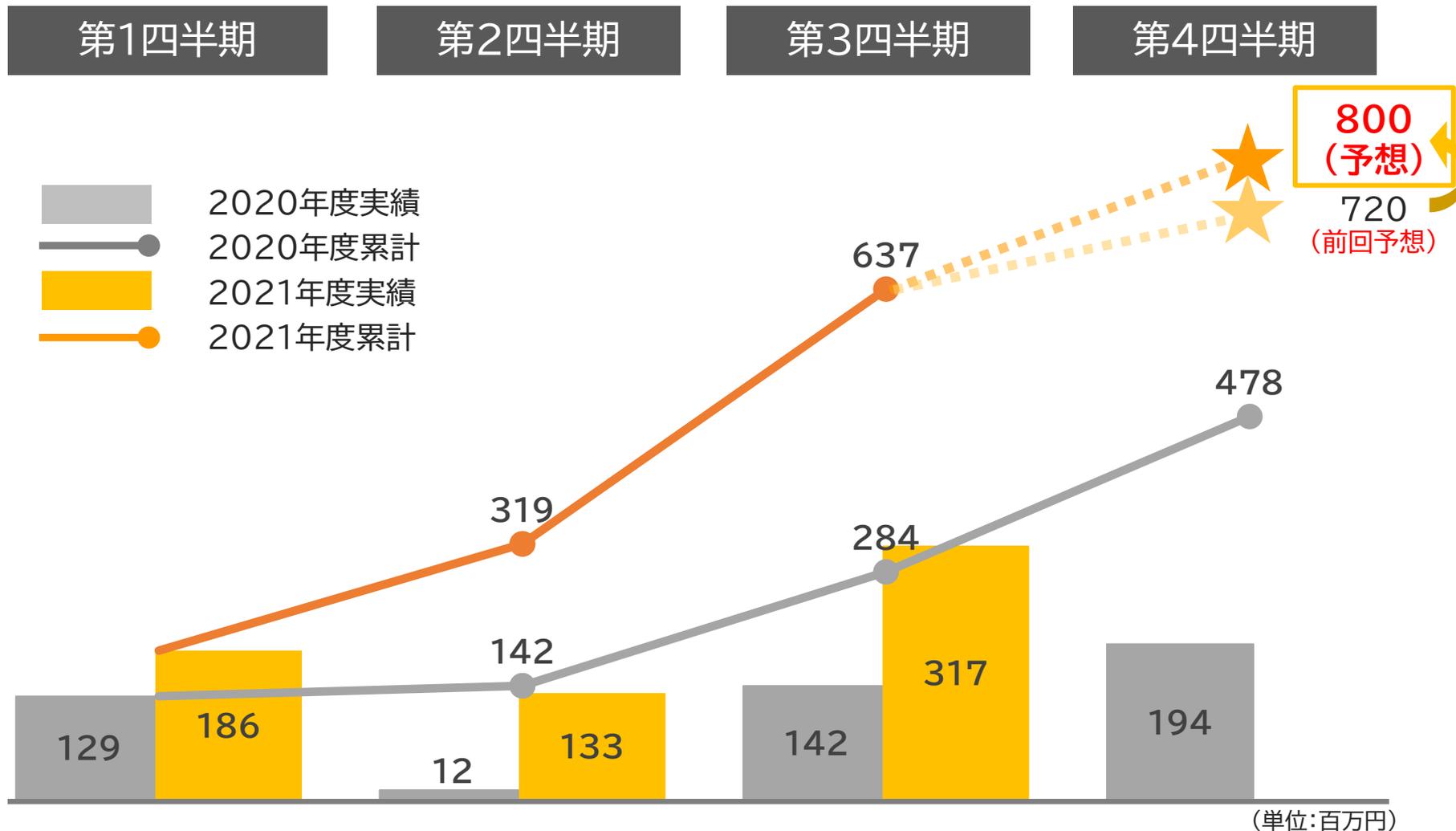
(単位:百万円) (百万円未満切捨て)

	前回予想 (10月27日発表)	修正予想 (1月28日発表)	増減額	増減率	(参考) 2020年度 実績
売上高	12,000	12,000	—	—	10,991
営業利益	720	800	80	11%	478
経常利益	750	850	100	13%	476
純利益	750	850	100	13%	151

- ✓ 売上高は想定通りに推移、前回予想を据え置く
- ✓ 営業利益・経常利益・純利益は、第3四半期での好調な結果を反映し、上方修正を行う

本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# 四半期営業利益の推移(前期比)



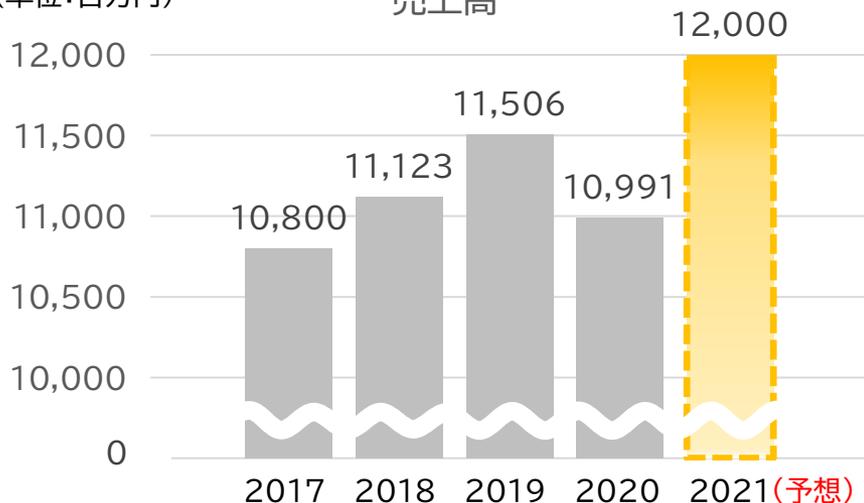
上期に続き第3四半期も大幅な増益  
第4四半期(1月~3月)も着実に利益を積み上げる

# 通期の業績推移と予想

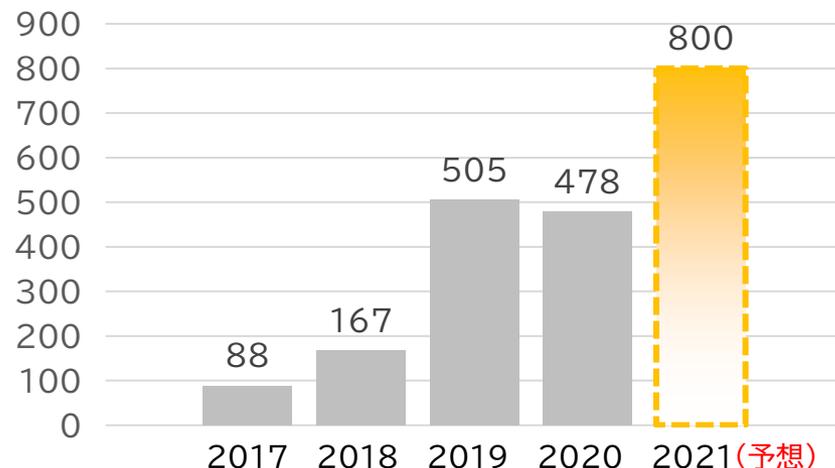


(単位:百万円)

売上高



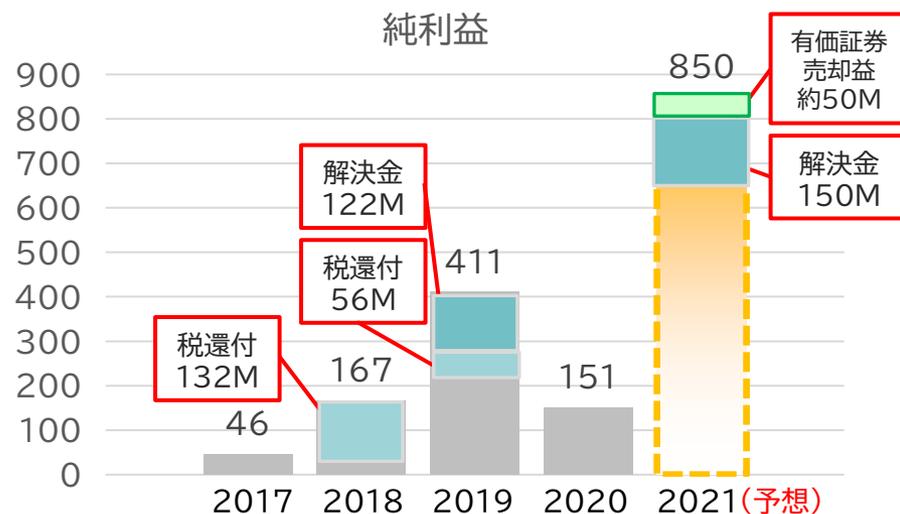
営業利益



経常利益



純利益



売上高・各利益ともに過去5年で最高となることを見込む

## ◆2021年度第3四半期決算概要

## ◆業績予想の修正

## ◆自己株式の取得結果

## ◆トピックス

### 【参考】

事業セグメントの内容・トピックス

株式併合

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 自己株式の取得結果



## 10月27日の当社取締役会で自己株式の取得を決議

[ 総額2.5億円・取得株式数30万株を上限 ]

### ■ 取得結果

取得した株式の種類	当社普通株式
取得した株式の総数	299,500株 (進捗率:99.8%)
株式の取得価額の総額	249,997,600円 (進捗率:99.9%)
取得期間	2021年11月1日～2022年1月26日 (約定ベース)

(ご参考 2022年1月27日時点)

・発行済株式総数(自己株式を除く)	7,369,159株
・自己株式数	545,573株

当社は、事業における競争力の確保と同時に株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しております

⇒今回は利益還元及び機動的な資本政策の遂行を目的として自己株式を取得

引き続き、成長のために必要な投資とのバランスを考慮しつつ積極的に株主還元を検討してまいります

# ◆2021年度第3四半期決算概要

## ◆業績予想の修正

## ◆自己株式の取得結果

## ◆トピックス

### 【参考】

事業セグメントの内容・トピックス

株式併合

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

## 2022年4月「博多キャンパス」を開校予定 eスポーツコースは全国で5番目の拠点



各キャンパス最先端のゲーミング環境を完備し  
全国大会で好成績の選手も輩出したeスポーツコース独自の授業を提供

今後もさらなる拠点拡大を図っていく

競技レベルを問わず一般の方でも出場できる  
eスポーツオンライン大会(全3回)をオプテージ社と共催



第1回: 2021年12月11日



第2回: 2022年1月15日

第3回: 2022年 近日開催予定

<https://eonet.jp/event/esports2020/index.html?cid=eo200002>

## (株)積木製作の街づくりのDXを推進する デジタルツイン※のクラウド配信にGクラスタ技術を提供



※「デジタルツイン(Digital Twin)」とは

現実空間上に存在するモノや空間の状態など様々な要素を、コンピューターやネットワーク上の仮想空間などのデジタル空間上に、「双子(Twin)」のように複製、再現したもの

### ノンゲーム分野のゲームエンジンやVR/AR・メタバースなどにも クラウド配信技術の活用を推進

## 2022年「釣りビジョン」新番組のご紹介



### 『純烈フィッシュ2』

放送初回：1月9日

4人組男性歌謡コーラス・グループ「純烈」のリードボーカル、白川裕二郎さんレギュラー番組、第2弾。幼少期から釣りをたしなんでいる彼の、等身大の姿をお届けします！



### 『熱釣プロ野球2022 読売ジャイアンツ編』

放送初回：2月20日

プロ野球界のスーパーstarたちが“釣り向き合う姿”を紹介！記念すべき第一回目は、読売ジャイアンツの看板選手たちが登場し、チーム戦で東京湾釣決戦を繰り広げます。続くレジェンド編では、松坂大輔・藤川球児・森 繁和ら釣り好きの3人が、野球談議とともに釣りの魅力を語ります。

### 『熱釣プロ野球2022 レジェンド編』

放送初回：3月20日

釣りビジョンVODで、24時間視聴可能！

# ご清聴ありがとうございました



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。

# ◆2021年度第3四半期決算概要

## ◆業績予想の修正

## ◆自己株式の取得結果

## ◆トピックス

### 【参考】

事業セグメントの内容・トピックス

株式併合

釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗

# 事業セグメントの内容



セグメント	事業内容	主な業務内容
教育	通信制高校	・イーラーニングシステムを利用した単位制・広域通信制高校 「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」「ルネサンス大阪高等学校」のルネサンス高等学校グループの運営
	日本語教育	・日本語研修・日本語教師養成講座を提供する「日本語センター」の運営
スタジオ・コンテンツ	デジタルメディアサービス	・マルチデバイス向けコンテンツ配信サービス「クランクイン！ビデオ」「クランクイン！コミック」の提供 ・エンタメ・情報サイト「クランクイン！」「クランクイン！トレンド」の企画・運営
	制作事業	・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作
	コンテンツ販売事業	・劇場映画の製作・配給 ・テレビ放映権の販売 ・VOD権の販売、DVD/Blu-rayの発売
放送	釣り専門チャンネル	・衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 ・映像の受託制作
	釣りビジョンVOD	・マルチデバイス向け動画配信サービス「釣りビジョンVOD」の提供
技術	クラウドソリューション	・クラウドゲームサービスの提供 ・通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 ・スマートフォン向けクラウドゲームアプリの提供
	デジタルシネマサービス	・ブロードメディア®CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売及びレンタル ・映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVPFサービスの提供
	CDNサービス	・コンテンツを最適な形で配信する「CDN(アカマイ)サービス」「CMオンラインサービス」「セキュリティサービス」の提供
	ホスピタリティ・ネットワーク	・ホテルの客室・会議室へのインターネットサービスの提供、機器の監視及び保守サービスの提供
	ネットワーク営業	・「SoftBank 光」「SoftBank Air」「Yahoo! BB」及びその他ブロードバンド回線の販売 ・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売 ・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯端末の取り扱い
	システム開発	・設計からソフトウェア開発、保守運用までワンストップのシステム開発を提供
	その他ソリューションサービス	・グローバルに展開されたプライベートネットワーク「Aryaka」等の提供 ・画像解析技術を駆使した小売業向け次世代型AIソリューション「Vue.ai」の提供

# 事業セグメント別の連結経営成績



## 収益種別毎の売上高

上段:売上高(単位:百万円)(百万円未満切捨て)  
下段:構成比率

		合 計
教 育		2,001
スタジオ・コンテンツ		2,304
放 送		1,978
技 術		2,886
合 計		9,170

ストック/フロー別の収益内訳	
ストック	フロー
2,001 100%	0 0%
354 15%	1,950 85%
1,607 81%	370 19%
2,348 81%	537 19%
6,311 69%	2,859 31%

独自商品/それ以外の収益内訳	
独自商品	独自商品以外
2,001 100%	— —
1,711 74%	593 26%
1,978 100%	— —
630 22%	2,255 78%
6,321 69%	2,849 31%

- ✓ 教育・放送は独自商品による継続性の高いストック収益が中心
- ✓ スタジオ・コンテンツは短期の変動が大きいフロー収益が中心
- ✓ 技術は独自商品以外によるストック収益が中心

## 『レインボーシックス シーズ』の世界一を決める祭典 「Six Invitational 2022」出場権を獲得



BlackRay



Anitun



SuzuC



gatorada



Ayagator



Fuji3

世界ランキング上位16チームと各地域の代表4チームが参加  
アジア太平洋地域からはサイクロプスが2年連続で出場決定

# 株式併合について



当社普通株式10株を1株に併合  
(2021年10月1日に効力が発生)

東証の有価証券上場規程において望ましいとされている  
投資単位の水準、「5万円以上 50万円未満」に調整

注) 2021年9月30日の株主名簿に記録された株主様の所有株式数が基準

単元未満株式をご所有の株主様

自己の有する単元未満株式を買い取るよう、当社に対して  
請求できます

お取引先の証券会社または、当社株主名簿管理人まで  
お問い合わせください

# 釣りビジョン社の詐欺被害事件に係る進捗



民事手続き  
(損害賠償請求等による回収)

⇒ 元役員に対する損害賠償請求訴訟は和解が成立  
役員等賠償責任保険を締結している保険会社より  
350百万円の解決金が支払われた

刑事手続き  
(継続中)

⇒ 告訴状が警察署に受理された  
釣りビジョン社は引き続き捜査に協力

創造力が生み出す優れた作品やサービスを

広く社会に普及させ

より豊かなコミュニティの形成・発展に貢献する

<https://www.broadmedia.co.jp/>



本資料に記載されている、当社の現在の計画・見通し・戦略・確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報にもとづき経営陣が判断した予測が含まれております。実際の業績は様々なリスクや不確実な要素により、これらの業績見通しと大きく異なる結果となりうるため、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠することはお控えくださいますようお願い致します。